【すべての講演の演者・座長の方へ】

演者・座長の皆様は現地でのご参加・発表をお願いいたします。
本総会の講演は PC プレゼンテーションのみとなります。スライドやビデオ（DVD を含む）による発表はできませんのでご注意ください。また音声データの使用はできません。

■リボンの着用について

本総会では、学術展示座長にのみリボンを配布いたします。学術展示会場（東京国際フォーラム ガラス棟 7 階ラウンジ）前の「座長受付」にてお受け取りください。

■スライド言語、発表言語について

発表形式	スライド	発表	質疑応答
・特別講演	日英併記	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・招待講演	日/英いずれも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・評議員会指名講演	日英併記	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・シンポジウム	日英併記/英いずれも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・International Symposium ・The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists	英語	英語	英語
・教育セミナー ・サブスペシャリティサンデー ・スキルトランスファー	日英併記/英を推奨し、日本語でも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・一般講演 ・学術展示	日英併記/英いずれも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可

■データの受付

1．PC センター

場所：東京国際フォーラム 地下 1 階　ロビーギャラリー
講演会場では発表データの受付はできません。必ず PC センターにて受付をお済ませください。
初日は混雑が予想されますので、2 日目以降にご発表の方は、4 月 6 日（木）13 時以降にデータ受付をお願いいたします。
受付時間

日付	受付時間
4 月 6 日（木）	7：45～18：00
4 月 7 日（金）	7：15～17：40
4 月 8 日（土）	7：15～18：00
4 月 9 日（日）	7：15～13：00

各会場には Windows10、PowerPoint 2010、2013、2016、解像度 Full HD（1920×1080）をご用意いたします。スクリーンサイズは 16：9 です。
発表データは下記方法にてご持参ください。

	Windows	Macintosh
メディア持込	○	×
PC 本体持込	○	○
OS	Windows10 および 11	—
データ形式	Microsoft 365 PowerPoint	—

2．データ形式

＜メディア持込の場合の注意点＞

・データは CD-R または USB フラッシュメモリに保存してご持参ください。
・PC センターではウイルスセキュリティを最新に更新し、万全を期しておりますが、ウイルスに定義されていない未知のウイルスに感染する場合がございます。会場システムへのウイルス完成予防のため、事前にメディアのウイルスチェックを行っておいてください。また、可能な限り発表データのみを保存した CD-R または USB フラッシュメモリをご持参ください。
・OS 標準フォント（MS 明朝/MS ゴシック/Times New Roman/Century 等）をご使用ください。
・動画ファイルでのプレゼンテーションがある方はご自身の PC 持込でのプレゼンテーションを推奨いたします。やむを得ずデータ持込で動画ファイルのプレゼンテーションがある方の動画は Windows Media Player で再生可能なものに限定いたします。特殊な動画コーデックをご使用にならないよう、ご注意く

ください。バックアップおよびトラブル対策のため、PC 本体もご持参ください。
・プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず他のデータも一緒に保存し、作成した PC とは別の PC にて事前の動作確認をお願いいたします。
・お預かりいたしましたデータは、学会終了後、責任をもって消去いたします。
＜PC 本体持込の場合の注意点＞
・Macintosh をご使用の場合は、PC 本体をお持込ください。
・プロジェクターのモニター端子は、HDMI です。変換コネクタが必要な場合は、ご自身でお持ちください。
・AC アダプターを必ずご持参ください。
・スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除しておいてください。
・PC センターにて動作確認後、ご自身で会場内左前方のオペレーター席まで PC をお持ちください。発表終了後、オペレーター席にてご返却いたします。

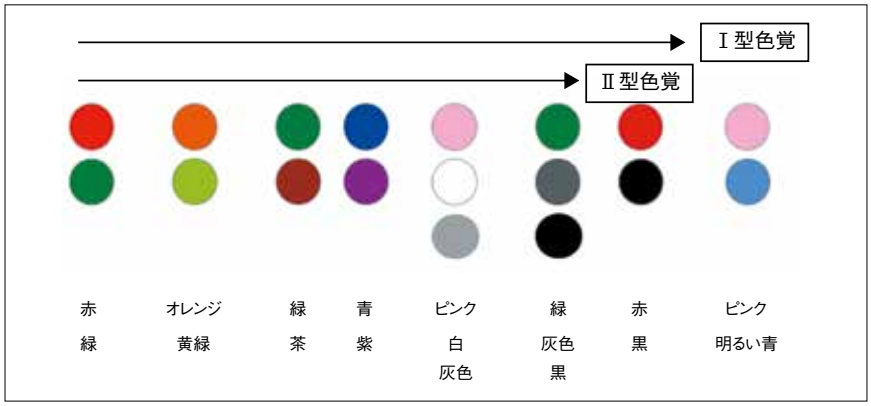
■利益相反（Conflict of interest）について

共催セミナーを含むすべての発表に関し、講演時の 2 枚目のスライドまたはポスター末尾において利益相反を公表してください。演者全員が利益相反公表基準に該当しない場合は、「利益相反公表基準に該当なし」と記載してください。該当ありの場合には、各演者名に続きカテゴリーと企業名〔ただし、カテゴリー P（特許権を有する、または申請中の場合）では企業名の記載は必要ありません〕を明示してください。
記載例：日眼太郎：【F】○○製薬、【I】▲▲工業
　　日眼花子：【P】
なお、平成 27 年 10 月 21 日に「日本眼科学会利益相反に関する基準」が改正され、当該の発表内容に関するか否かにかかわらず、過去 3 年間の利益相反を公表の対象とすることとなりました。
利益相反に関する詳細については、日本眼科学会ホームページ内の倫理委員会のページ「日本眼科学会利益相反に関する基準（https://www.nichigan.or.jp/Portals/0/resources/about/conflict.pdf）」にてご確認ください。

■スライド作成における注意事項

スライドは参加者が容易に理解できるよう眼科学の知識に基づいて作成してください。
1．スライド 2 枚目に利益相反事項を用意してください。
2．字詰まりスライドを避ける：字詰まりスライドは、低視力者はもちろん、正常視力者にとっても判読が大変困難です。（Angular Vision と Cortical Vision との関係への配慮）。
3．スライド提示時間への配慮：スライドに掲載されている内容を把握するのに、十分な提示時間を確保できるスライド枚数としてください。
4．使用する色の数ならびに混合色への配慮：
　1）一枚のスライドに多数の色を使用することは避けてください。背景色と文字とのコントラストが十分にあるもの（ブルーまたは黒の背景に白色または黄色文字など）にしてください。
　2）以下の配色は混同色として識別が難しいので同一スライド内で使用しないようにしてください。

※混同しやすい配色



■注意事項（欠席等について）

1．一般講演、学術展示発表において、事前連絡がなく、指定された時間に出席、発表されなかった場合、ペナルティとして次回総集会で筆頭演者として発表を認めない方針である旨が日本眼科学会総集会プログラム委員会で決定されております。くれぐれもご注意ください。
2．やむを得ない事情で欠席される場合は、総会開催までに文書またはメールにて欠席理由書を運営事務局にご提出いただく必要がございます。
3．学会会期中に緊急の要件（交通事情、体調不良など）があった場合は、早急に運営本部（東京国際フォー

ラム ガラス棟 5 階 G508 TEL：080-1509-4071（会期中 4 日間のみ通じます））にご連絡ください。

【日本眼科学会学術奨励賞記念講演の演者・座長の方へ】

デジタルプレゼンテーションでの口頭発表とし、「The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists」において英語にて 5 分講演、2 分質疑の合計 7 分発表していただきます。

【第 76 回日本臨床眼科学会学術展示優秀賞受賞講演の演者・座長の方へ】

デジタルプレゼンテーションでの口頭発表にて 5 分間講演していただきます。討論はありません。

【一般講演の演者・座長の方へ】

■一般講演演者：講演と討論について

1．デジタルプレゼンテーションでの口頭発表となります。
2．演者はセッション開始 15 分前までに会場内左側最前列の次演者席にお着きください。
3．座長の指示のもと、演台上のワイヤレスマウスを各自操作して発表してください（PC 本体は演台の上にはございません）。
4．講演時間は 8 分、討論時間は 4 分の合計 12 分です。短時間に多くの演題発表がありますので、時間厳守でお願いいたします。
5．新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒液をご用意しております。ご登壇時とご降壇時の手の消毒にご協力をお願いします。
6．オンデマンドサイトにおいて、質問投稿機能を設けますので、参加者からコメントや質問などがあった場合、セッションを盛り上げるためにも、ぜひご返信をお願いします。

■一般講演座長：講演と討論について

1．座長はセッション開始 20 分前までに会場内右側最前列の次座長席にお着きください。
2．座長は開始の合図に合わせて登壇し、セッションを開始してください。
3．講演時間は 1 演題につき 8 分、討論時間は 4 分の合計 12 分です。短時間に多くの演題発表がありますので、スムーズな進行をお願いいたします。
4．日本眼科学会雑誌では、「日眼総会原著特集号」を発行することになりました。座長に担当セッションの中から日本眼科学会雑誌に相応しい演題を推薦していただき、その筆頭演者に日眼総会原著特集号への投稿を案内します。会期終了後にメールにて演題推薦を依頼させていただきますので、その際はご協力をよろしくお願いいたします。
5．新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒液をご用意しております。ご登壇時とご降壇時の手の消毒にご協力をお願いします。

【学術展示の演者・座長の方へ】

■学術展示会場

東京国際フォーラム ガラス棟 7 階　ラウンジ

■学術展示演者：講演と討論について

1．紙媒体でのポスター形式ではなく、ミニオーラル会場での口頭発表となります。発表は、デジタルプレゼンテーションのみとなります。
2．演者はセッション開始 15 分前までに会場内左側前方へお越しください。
3．座長の指示のもと、演台上のワイヤレスマウスを各自操作して発表してください（PC 本体は演台の上にはございません）。
4．講演時間は 6 分、討論時間は 3 分の合計 9 分です。短時間に多くの演題発表がありますので、時間厳守でお願いいたします。
5．発表は、マイクを通して行っていただきますが、その音声は、マルチチャンネルレシーバーを通してお聞きいただきます。会場入口付近でレシーバーをお受け取りいただき、セッション終了後、会場スタッフへご返却ください。
6．新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒液をご用意しております。ご登壇時とご降壇時の手の消毒にご協力をお願いします。
7．オンデマンド配信サイトにおいて質問投稿機能を設けますので、参加者からコメントや質問などがあった場合、セッションを盛り上げるためにも、ぜひご返信をお願いします。

■学術展示座長：講演と討論について

1．座長には、学術展示会場入口でリボンをお渡しします。胸元につけた上で、セッション開始 10 分前までに会場内右側前方へお越しください。
2．定刻になり次第セッションを開始してください。

3．講演時間は1演題につき6分、討論時間は3分の合計9分です。短時間に多くの演題発表がありますので、スムーズな進行をお願いいたします。
4．発表は、マイクを通して行っていただきますが、その音声は、マルチチャンネルレシーバーを通してお聞きいただきます。
5．日本眼科学会雑誌では、「日眼総会原著特集号」を発行することになりました。座長に担当セッションの中から日本眼科学会雑誌に相応しい演題を推薦していただき、その筆頭演者に日眼総会原著特集号への投稿を案内します。会期終了後にメールにて演題推薦を依頼させていただきますので、その際はご協力をよろしくお願いいたします。
6．新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒液をご用意しております。ご登壇時とご降壇時の手の消毒にご協力をお願いします。